

日本一周
亡き友との約束65歳で日本縦断
73歳で日本一周

8月11日、日本一周自転車旅のゴールを迎えた土橋慶一さん。平成27(2015)年、当時65歳で宗谷岬(北海道)から佐多岬(鹿児島県)まで、自転車縦断し、今回は、日本海側を北上・太平洋側を南下する日本一周を達成。73歳の挑戦には、亡き友との約束がありました。

陸上自衛官だった土橋さんは、東京電力福島第1原発事故後、福島県で1年半にわたる放射性物質の除染作業に従事。同じチームで活動していた青森県出身の吉川主^{よしかわなむね}さんが「80歳になったら徒歩で日本一周する」と宣言し、土橋さんは「70歳になったら自転車で日本一周する」と応え、約束を交わしました。

令和元(2019)年7月、64歳で吉川さんは亡くなりましたが、土橋さんは約束を果たし吉川さんの墓参りをするため、実行を決意。令和5年4月1日に出発しました。

「コロナ禍の影響で3年遅れてしまい、体力の心配もありましたが、前回と変わらない走りができました」

旅は人

自分の現在地や目的地までの時間などを調べるスマホを持つていない土橋さんの旅は、行き当たりばったり。困ったときは人に聞き、会話から生まれるつながりを大切にするのが土橋さん流です。

各地の友人が自宅に泊めてくれたり、同じように自転車で旅をする千葉県在住の青年が、面識のない吉川さんの墓掃除を手伝ってくれたり。北海道では、警察官にヘルメットの着用を促され、着用して旅を進めていると、後日その警察官が土橋さんを見つけ、うれしそうに声を掛けてくれたこともあったといいます。

「旅は人」そう話す土橋さんは、出会った人たちから言葉で伝える大切さを教わったうえで、「帰宅して開口一番、妻に感謝を伝えることができたと誇らしげに話しました。」

下段写真左から／町長へ達成報告／青森県の大間崎で(本人提供)／旅中7割の寝泊りはテントで。6月以降、地面からの熱で暑さに苦しんだそうです(本人提供)

